

令和7（2025）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

学校史

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 【資料】は、2023(令和5)年3月に文部科学省が策定した「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策『COCOLOプラン』」の概要である。この教育政策について、教育学の研究成果を交えながら論評しなさい。

問題2 次の問題の中から2問を選んで簡潔に説明しなさい。選択した番号を明記のこと。

1. モニトリアル・システム
2. 子どもの権利条約（児童の権利条約）
3. 往来物
4. 奉安殿
5. 教育基本法（1947年）

問題3 近現代の学校教育制度に関する以下の1～3のすべてについて述べなさい。

1. 近代日本の学校教育の分岐型（複線型）の特徴を述べなさい。
2. 近代日本の就学猶予・免除について述べなさい。
3. 第二次世界大戦後の盲・聾・養護学校への就学義務について述べなさい。

令和7（2025）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

教育思想

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 次頁の資料は、2023（令和5）年3月に文部科学省が策定した「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策『COCOLOプラン』」の概要である。この教育政策について、教育学の研究成果を交えながら論評しなさい。

問題2 次のA～Dにあげた事項及び人物について解説しなさい。

- A 学制 (明治5年8月2日太政官第214号)
- B 胡適 (1857-1962)
- C モニトリアル・システム (monitorial system)
- D ジョン・デューイ (John Dewey, 1859-1952)

問題3 次の英文を読み、あとの1～4の問いに日本語で答えなさい。

出典 : Thomas S. Kuhn, *The Road since Structure*, The University of Chicago Press, 2000, p.93

1. 著者 Thomas S. Kuhn (トマス・S・クーン, 1922-1996) が提唱した「パラダイム (paradigm)」という概念について説明しなさい。
2. 下線部②について、適切な具体例を挙げて説明しなさい。
3. 下線部③について、それはどういうことだと考えられるか、説明しなさい。
4. 下線部①について、この概念は教育思想史研究においてどのように参考にすることができると論じなさい。

令和7（2025）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

教育行政学

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 以下の資料は、2023（令和5）年3月に文部科学省が策定した「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策『COCOLOプラン』」の概要である（2/2頁に掲載）。この教育政策について、教育学の研究成果を交えながら論評しなさい。

出典 https://www.mext.go.jp/content/20230418-mxt_jidou02-000028870-bb.pdf

問題2 教育基本法はどのような人間を育てようとしているのかを述べ、またそれに関していくつか論点を取り上げて論じなさい（1947年制定法と2006年改正法のいずれを取り上げてよいし、両方を取り上げてよい）。

問題3 日本の教育制度・行政に関わる以下の4つの用語のうち、2つを選んでその意味や仕組みと課題・論点などについて説明しなさい。（選択した問題番号を明記のこと）

1. 小中高校等教科書検定制度
2. 子どもの権利条約
3. 社会に開かれた教育課程
4. 総額裁量制（義務教育費国庫負担制度）

令和7（2025）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

専門科目（学校経営論）

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 次項の資料は、2023(令和5)年3月に文部科学省が策定した「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策『COCOLOプラン』」の概要である。この教育政策について、教育学の研究成果を交えながら論評しなさい。

（資料の出典）：文部科学省ウェブサイト：2024年8月26日確認

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1397802_00005.htm

問題2 日本の学校教育における部活動のあり方が盛んに問われている。特に運動部活動を学校から切り離す「地域移行」の動きも進む一方、学校教育における運動部活動の意義を主張する研究者や教員の声も根強い。上記にかかる論点を整理した上で、今後の部活動（特に運動部活動）はどうあるべきか、自身の考えを論じなさい。

問題3 日本の学校経営に関わる以下の4つの用語のうち、2つを選んでその意味や仕組みと課題・論点について説明しなさい（選択した番号を明記すること）。

①就学義務 ②いじめ防止対策推進法 ③教育課程特例制度 ④教員免許更新制

令和7（2025）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

青年期教育論

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 課題文はドナルド・A・ショーン『省察的実践とは何か プロフェッショナルの行為と思考』の一部である。これを読み以下の問に応えなさい。

問1 なぜ省察的実践に組織学習が必要となるのか、課題文の内容から著者の意見を要約しなさい。

問2 課題文の内容と生涯学習とのかかわりについて、あなたの意見を述べなさい。

出典 ドナルド・A・ショーン『省察的実践とは何か プロフェッショナルの行為と思考』柳沢昌一・三輪建二監訳、鳳書房、2007年（原典1983年）

問題2 日本における「青年の発見/誕生」とは、いつ頃の、どのような事象を指すものか。「青年」をめぐる言説やその歴史的社会的文脈とあわせて説明せよ。

問題3 次の用語・事項の中から2つを選んで簡潔に説明しなさい。
解答用紙に、選択した番号を明記すること。

1. 成人の学習に関するハンブルク宣言
2. 社会教育施設
3. 性の権利
4. 生活史学習

令和7（2025）年度 大学院教育学院修士課程 入学試験問題

高等継続教育

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 課題文はドナルド・A・ショーン『省察的実践とは何か プロフェッショナルの行為と思考』の一部である。これを読み以下の問に応えなさい。

問1 なぜ省察的実践に組織学習が必要となるのか、課題文の内容から著者の意見を要約しなさい。

問2 課題文の内容と生涯学習とのかかわりについて、あなたの意見を述べなさい。

問題2 資料を参考に、各国の高等教育機関の学生に対する財政支援の形態をタイプ分けする際の注意事項を述べなさい。

出典：文部科学省「関係データ集」（令和6年7月19日版）（中央教育審議会大学分科会（第178回）・高等教育の在り方に関する特別部会（第8回）合同会議配付資料、2024年7月19日）

問題3 次の語句のなかから二つを選んで解説しなさい。選択した問題番号を明記すること。

1. 大学と国民国家
2. デアリング報告書
3. 大学ランキング
4. 大学のハラスメント相談体制

【出典】「図表で見る教育 OECDインディケータ（2021年版）」図C5.3

【参考】令和4年度学生生活調査によると、日本の大学学部（昼間部）において何らかの奨学金を受給している者（JASSOの給付奨学金、同貸与奨学金、JASSO以外の給付奨学金、同貸与奨学金のうち、1つ以上を受給したと回答した者）の割合は55.0%となっている。

令和7（2025）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

産業教育

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 人口構成の変化が教育に与える影響について考察しなさい。

問題2 高度経済成長の後半期における日本の経済、経営、労働、教育の状況を概観し、大企業分野でジョブ型雇用が定着しなかった理由について考察せよ。

問題3 次の事項の中から3つを選んで説明しなさい。選択した番号を解答用紙に明記すること。

- ① 職業安定法
- ② 国民所得倍増計画
- ③ 産業の空洞化
- ④ 職業科
- ⑤ 第二組合

令和7(2025)年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

職業能力形成論

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 人口構成の変化が教育に与える影響について考察しなさい。

問題2 現代日本における雇用形態間の処遇格差について具体的に説明し、格差が生じている背景と格差是正に向けて求められる取り組みを論じなさい。

問題3 次の事項のなかから3つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を解答用紙に明記すること。

- ① 育児休業
- ② 合理的配慮
- ③ CSR (企業の社会的責任)
- ④ ジャスト・イン・タイム
- ⑤ 職能資格制度

令和7（2025）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

教育社会学

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 人口構成の変化が教育に与える影響について考察しなさい。

問題2 社会的地位の配分原理としての属性主義と業績主義について論述しなさい。

問題3 次の語句の中から、2つを選び説明しなさい（選択した番号を解答用紙に明記すること）。

- ①トラッキング ②自己成就的予言 ③混合研究法 ④ラベリング理論

令和7（2025）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

視知覚認知過程論

（250点満点）

以下のすべての問題に答えなさい。

問題1 あなたの研究関心に関わる先行研究を一つ紹介しなさい。その研究の背景と目的、方法、結果、結論について説明し、さらにその研究方法論上の利点と限界を述べること。

問題2 以下の4つの用語から2つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

- (1) 特徴統合理論 (feature integration theory)
- (2) 物体ベースの注意 (object-based attention)
- (3) 大細胞系経路 (magnocellular pathway)
- (4) 神経多様性 (neurodiversity)

問題3 作業記憶 (working memory) の容量が学習や日常生活にどのように影響を与えるかを、具体例を挙げて説明しなさい。また、作業記憶の容量を制限する要因についても述べなさい。

令和7（2025）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

学習神経心理学

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 あなたの研究関心に関わる先行研究を一つ紹介しなさい。その研究の背景と目的、方法、結果、結論について説明し、さらにその研究方法論上の利点と限界を述べること。

問題2 以下の用語を日本語に訳し、その概要について、読み書きに関する研究と関連づけながら説明しなさい。1)から4)の全てに回答すること。

- 1) grapheme-phoneme correspondence
- 2) categorical perception
- 3) visual word form area
- 4) longitudinal study

問題3 Hoover & Gough (1990) が提唱した “simple view of reading” について、その概要を説明し、読みに困難のある人の理解にどのように役立つか説明しなさい。

令和7（2025）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

言語発達論

（250点満点）

以下の問題1～3のすべてに答えなさい。

問題1 あなたの研究関心に関わる先行研究を一つ紹介しなさい。その研究の背景と目的、方法、結果、結論について説明し、さらにその研究方法論上の利点と限界を述べること。

問題2 下記の英文をすべて和訳しなさい。

注 Catalan：カタロニア語 Maltese：マルタ語
Bokmål：ノルウェーで用いられる書きことばのひとつ

出典： Bus, A. G., Hoel, T., Aliagas, C., Jernes, M., Korat, O., Mifsud, C. L., & van Cillie, J. (2019). Availability and quality of storybook apps across five less widely used languages. In O. Erstad, R. Flewitt, B. Kümmerling-Meibauer, & Í. S. P. Pereira (Eds.). *The Routledge handbook of digital literacies in early childhood* (pp.308-321). Routledge. 318頁より引用。

問題3 幼児の言語発達に関する代表的な理論を2つ以上挙げ、それぞれの理論の要点を説明しなさい。ただし、下記の人名・概念を必ず用いること。

チョムスキー 生得性 領域一般

令和7（2025）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

認知・動機づけ論

（250点満点）

以下のすべての問題に答えなさい。

問題1 あなたの研究関心に関わる先行研究を一つ紹介しなさい。その研究の背景と目的、方法、結果、結論について説明し、さらにその研究方法論上の利点と限界を述べること。

問題2 以下の3つの用語から2つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

1. ピグマリオン効果(Pygmalion effect, Rosenthal effect)
2. 価値介入(value intervention)
3. 内発的動機づけ (intrinsic motivation)

問題3 あなたは大学院生として、小学生を対象とした大規模調査研究（K(参加学校数)=30, N=3,300）に参加することになった。調査開始年時4年生を6年間追跡（中学3年生まで）する縦断調査である。毎年7月に調査を行い、最終的に5時点のパネルデータが揃う予定である。質問紙では、ソーシャルサポートの知覚（親サポート、友人サポート、先生サポート：合計9項目）、抑うつ症状（9項目）、その他、性別、社会経済地位、学年、クラス、学校などのデモグラフィックについて参加者に尋ねることが決まっている。あなたは2つ以下の心理変数を質問紙に加えることが許されているとする。

どのような変数を加え、どのような仮説をどのようなモデルで検討するか解説しなさい。目的によっては、すべての時点のデータを使う必要はない。研究仮説の検討は、すでに実施が決まっている変数（上記のソーシャルサポートなど）も用いても構わない。なお、加える変数（あるいは尺度）の説明は必須とし、モデルについては図を併用し解説しても構わない。

補足：

- ・パネルデータ：データセットの中の個人は時点間で紐づけられている。
- ・質問紙は、毎回同じものを使用することとする。
- ・なおその他の細かな設定が必要であれば自身で加えて構わない。

令和7（2025）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

発達心理学

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 子どもの発達を研究するために、学校や保育などの実践現場において調査等を行う利点と限界および注意点について、あなたの考えを述べなさい。

問題2 以下の6つの用語から3つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

- (1) アロペアレンティング (alloparenting)
- (2) 学習性無力感 (learned helplessness)
- (3) 意味生成 (meaning making)
- (4) 内在化問題 (internalizing problem)
- (5) 知的リアリズム (intellectual realism)
- (6) 斉一性 (sameness) と連続性 (continuity)

問題3 自尊感情はなぜ思春期に低下するのか、その理由について、身体、環境、認知の要因から論じ、この現象に対し、あなたが考える望ましい対応について述べなさい。

乳幼児発達論

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 子どもの発達を研究するために、学校や保育などの実践現場において調査等を行う利点と限界および注意点について、あなたの考えを述べなさい。

問題2 以下の6つの用語から3つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

- (1) アロペアレンティング (alloparenting)
- (2) 学習性無力感 (learned helplessness)
- (3) 意味生成 (meaning making)
- (4) 内在化問題 (internalizing problem)
- (5) 知的リアリズム (intellectual realism)
- (6) 斉一性 (sameness) と連続性 (continuity)

問題3 子どもの発達と文化ないし文脈との関係について、具体的な例を挙げながら論じなさい。なお、「具体的な例」とは、研究例でもよいし、子どもの行動や姿に関する現象例でもよい。

令和7（2025）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

障害者臨床心理学

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1

大規模災害や事件などが発災・発生した後、心理支援者には緊急支援として現場に介入することが求められることがある。こうした状況における心理支援者の役割について、マズローの欲求階層説と関連させて説明しなさい（800字以内）。

問題2 以下の、ダレン・ラングドリッジ著「現象学的心理学への招待」新曜社 p.4からの抜粋を読んで、1. 2.に答えなさい。

1. 本文では、次に現象学的パラダイムにおける認識論が述べられている。この認識論について簡潔に述べなさい（200字以内）。

2. 現象学的パラダイムにおける認識論の上に立ち、新型コロナウイルス感染症に見舞われた数年間の状況から臨床心理学における研究計画（問い・目的・方法）を立案しなさい。キーワードを一つ以上あげ、600字以内で述べなさい。

令和7（2025）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

福祉臨床心理学

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1

大規模災害や事件などが発災・発生した後、心理支援者には緊急支援として現場に介入することが求められることがある。こうした状況における心理支援者の役割について、マズローの欲求階層説と関連させて説明しなさい。（800字以内）

問題2

1. 児童期逆境体験 (ACEs) とはどのようなものかについて説明しなさい (150字以内)。
2. 近年、ACEs だけではなく、児童期の肯定的体験 (PCEs) や保護・補償体験 (PACEs) を考慮することの重要性が指摘されている。PCEs や PACEs がどのようなものであるかを説明しなさい (150字以内)。
3. PCEs や PACEs を考慮した心理支援に関する実践・研究を行う意義や強みについて、具体例を示しながら述べなさい (600字以内)。

令和7(2025)年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

生活健康学

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 心身ともに健康的な生活を送ることができるよう、国は「①調和のとれた食事、②適切な運動、③十分な休養・睡眠」の健康三原則を提唱している。現代人の生活習慣の特徴と問題点をあげ、研究活動および教育を通じてどのように問題を解決することができるか、あなたの考えを述べなさい。

問題2 以下の文章をよみ、問題に答えなさい

睡眠は、生理機能を維持するうえで必須の生命現象であり、人生の3分の1は睡眠である。ヒトの睡眠と覚醒は、①生物時計中枢と恒常性維持機構からの制御を受けている。日本人の睡眠時間は世界的にも短く、国民の5人に1人が睡眠に何らかの問題を抱えている。②睡眠障害は、うつ病といった気分障害、肥満や糖尿病などの内分泌疾患の発症リスクを高めることが指摘されている。

問題2-1 下線部①について、睡眠と覚醒を制御する2つのモデル(2プロセスモデル、2振動体モデル)が提唱されているが、各モデルの概要とモデルの根拠となった睡眠と覚醒に関する重要な発見について説明しなさい。

問題2-2 下線部②について、睡眠障害により様々な疾患の発症リスクが高まるメカニズムを以下の疾患から1つ選び説明しなさい。解答欄には選択した疾患名を記載すること。

疾患名：うつ病、認知症、肥満、糖尿病、高血圧

令和7（2025）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

多元文化教育論

（250点満点）

以下のすべての問題に答えなさい。

問題1 多文化社会において発生する不寛容（イントレランス）の原因について説明しなさい。また、そのために特に教育上必要とされる対策について考え、まとめなさい。

問題2 社会の多様化に伴い、異文化間能力の重要性が増しているが、異文化間能力とは何か、またその測定は可能かについて、これまでの研究動向に照らしてまとめなさい。

問題3 近年、各国でデジタル教科書の使用が見られる。その利点と問題点を述べなさい。